

「公聴会」及び「国民の声」について

平成 26 年 9 月
資源エネルギー庁

－ 1. 公聴会について－

- ・ 公聴会は、電力会社の電気料金値上げ申請に係る審査プロセスの一環として、電気事業法第 108 条に基づき、広く一般の意見を聴くことを目的とし、9 月 11 日に札幌市で開催。
- ・ 公聴会において陳述された意見は、「国民の声」と併せて、電気料金審査専門小委員会における審議に反映する。

(1) 概要

① 陳述人について

平成 26 年 8 月 1 日から平成 26 年 8 月 27 日まで募集。官報及び当省 Web サイトや経済産業省広報 Twitter に案内を掲載するとともに、北海道内の地方自治体、消費者団体、中小企業団体等へ累計で 650 以上の団体に周知を依頼。

26 名の方から陳述の届出があり、全員を陳述人として指定した。（当日 4 名欠席、意見の概要等を文書で提出。）

② 傍聴人について

56 名

③ 電気料金審査専門小委員会委員等の参加

- A) 陳述人による意見陳述の際には、中立的な第三者による議事進行を行うため、議事進行は、安念 潤司 中央大学法科大学院教授（電気料金審査専門小委員会委員長）が行った。
- B) 電気料金の審査に意見を反映させるという趣旨から、電気料金審査専門小委員会の委員も公聴会に出席し、陳述に関するコメントを行った。
✧ 梶川委員、辰巳委員、永田委員
- C) 消費者庁からもオブザーバー参加を行った。

《北海道電力の値上げに関する意見》

① 値上げの影響について

- 電気料金の再値上げは、道民生活や経済活動に与える影響は甚大であることから、値上げ申請を撤回し、抜本的な合理化努力を行うべきである。
- 大幅な電気料金の値上げは、消費者の生活への影響が大きく、際限のない電気料金の値上げには十分な検討が必要。

② 経営効率化について

- 通常、経営がうまくいかなかったときに、我々中小企業は無理無駄を省き、役員を減らし、役員報酬を減らし、職員給与を減らし、リストラを行い、最後に値上げをするという順番である。北電は順番が逆ではないか。
- あらゆる諸経費について、コスト削減努力を十分行うべき。役員報酬、人員・給与の削減や、株式・遊休資産の売却など、あらゆることを検討することは当たり前のことである。
- 人件費は審査対象外とのことだが、精査して欲しい。

③ 燃料費について

- 東電は、燃料の共同仕入れ等の新しい会社のあり方を検討している。そういった発電部門の分離や再生可能エネルギー部門の分社化等いろいろ検討いただいて、値上げは最後にしていただきたい。

④ 原子力発電について

- 泊原発の安全対策の追加費用は年々膨れて1600億円になっている。これ以上膨らまないと保証して欲しい。
- 国費の補助を得てでもできるだけ早期に廃炉にした方が、放射性廃棄物の処理費用も含めて長期的に安価で安全ではないか。
- 泊原発で福島のような事故が起こったときに北電は対応できるのか。
- 原発の再稼働については、40～50年の技術の蓄積もあるため賛成。安全安心対策をしっかり行って欲しい。
- 泊原発3基全てを再稼働する必要はないのではないか。

⑤ その他の意見

- 家庭でできる節電は既に浸透していて、電気代を切り詰める余地はもう残されていない。

- 電源の多様化を推進するとともに新しいエネルギー開発に努力し、新しいエネルギー分野の展望を示していただくことを要望する。
- オール電化住宅者や年金生活者には大変な負担になり、地域経済、道民生活への影響は計り知れない。
- 医療は、診療報酬という公定価格で成り立っており、一般事業者と違い価格転嫁できないため、新たな対策を実施することについては、経営上、非常に厳しいものがある。
- 水産業は一次産業で、製品に占める電気料金の割合は高く、今回の値上げは看過できない。

－ 2. 「国民の声」について－

広く一般の方から御意見を伺う観点から、電子政府の総合窓口（e-Gov）及び経済産業省ホームページにおいて「国民の声」を設置し、インターネットを通じて意見募集を行ったところ、北海道電力について計 285 通の御意見をいただいた。なお、募集期間は、平成 26 年 8 月 1 日から平成 26 年 9 月 11 日。

意見内容の内訳については、以下のとおり。具体的な内容については参考資料 3 を参照。

（1 通に複数の意見が記載されている場合は、複数の意見として集計）

〈北海道電力〉

・ 原子力発電に関するもの	約	85 件
・ 経営努力の不足に関するもの	約	75 件
・ 人件費に関するもの	約	70 件
・ 燃料費に関するもの	約	5 件
・ 総括原価方式の見直しに関するもの	約	5 件

以上